



# 自分の消防思想を全国に



日本消防協会の副会長に就任した  
佐々木 俊 夫 さん (大沢・74歳)

「予防に勝る消防は無い。町民一人ひとりが防火の意識を持つことが大切」と語る佐々木俊夫さん。五月三十日に日本消防協会の副会長に就任しました。佐々木さんは、昭和五十一年から現在まで山田町消防団の団長を務めると同時に、岩手県消防協会の理事や副会長などを歴任。平成七年から会長を務めています。また町民の防

災意識の高揚につなげようと、これまでに町内五地区に婦人防火クラブなどを組織させました。生業の傍ら奉仕の心を持って消防活動や訓練に取り組み団員の姿を見ると、団長としてやりがいを感じると話す佐々木さんですが、団員数の減少について「全国的にも定員を下回っている。大規模な災害でも対応できるように多くの若者に入団してほしい」と強く呼びかけます。昨年十一月に東京ドームで開催された自治体消防五十五周年記念式典では、総指揮者を務めた佐々木さん。

「天皇皇后両陛下を前にして全国から集まった三万五千人の消防団員に号令を掛けたことは、大変名誉なことです」と感激の大舞台を振り返ります。今後の抱負については、中

国・春秋時代の兵書「孫子の兵法」にある『戦わずして勝つ』という言葉に当てはめ、「火災を最小限に食い止めたとしても、そこには必ず被害があり最善とはいえない。予防によって被害を出さないことが最善の策である。この自分の消防思想を全国の人に持つてもらおうよう努力したい」と意欲的に話します。

## 町消防団

### 新たに女性2人が入団

### 地域の防災活動に努めます



町消防団入団者の辞令交付式が六月一日、山田消防署で行われ、新たに二人の女性消防団員が誕生しました。入団したのは飯岡の沼崎真由美さん(三〇)と真左(二)と織笠の阿部愛さん(三〇)で、共に第七分団に配属されま

した。一年前から同分団のお手伝いをしてきたお二人ですが、さらに地域のために貢献したいと入団を志願したものです。真新しいはんにそでを通したお二人は「最前線での活動はできませんが、後方支援の立場で地域防災のため頑張ります」と力強く抱負を述べていました。二人の入団により、本町の女性消防団員は四人となりました。

## 宮古で危険物取扱者の保安講習が行われます

危険物取扱者保安講習会が行われます。受講対象の方は忘れずに受講してください。

▷日時 9月7日(火)

給油取扱所従事者…午前9時～  
給油取扱所以外の従事者…午後1時半～

▷会場 宮古地区広域行政組合消防本部(宮古市五月町2-1)

▷受講対象 平成13年4月1日から14年3月31日までの間に、危険物取扱者免状を取得または同保安講習を受講した人

▷受講手数料 4,700円(岩手県収入証紙)

▷受付期限 7月31日

▷申込書の請求先・問い合わせ 山田消防署(☎82-3139)へ。